

## 巻頭言

関西看護医療大学看護学部  
入試委員会委員長

教授 古川 秀敏

2006年の創設以来、本学は地域社会で活躍できる人材育成を目標としてきました。看護師、保健師のみならず、2013年には大学院を開設し、助産師の育成にも尽力してきました。創設から17年を迎え、その間、社会の情勢は日に日に変化しています。本学では創設以来、病院や施設での療養から地域での療養へと医療のスタイルが変化する中、診療の補助業務だけでなく、看護診断を軸にして患者様や利用者様を生活者としてとらえ、生活の質の向上を目指した知識と技術を有する人材の輩出に邁進しています。

時々刻々と変化する社会情勢の中、時代のニーズに対応できる看護師育成のため、その入り口である入試制度においても本学では様々な入試区分を準備してきました。2018年には淡路島内地域密着型入学試験を新設し、淡路島内に籍を置く受験生に対して地域の医療機関と連携し授業料を4年間免除し、真に地域に貢献できる人材の育成を始めました。この淡路島内地域密着型入学試験は2023年度入試より、淡路島に貢献できる優秀な人物をさらに募集するために淡路島以外の地に籍を置く受験生においても門戸を広げました。さらに、2020年には面接と集団討議によりアドミッション・ポリシーに合致した人物評価を行う全国でもユニークな試験であるAO型試験を新設しました。このように、本学は時代の要請に応える努力を続けています。

当然ながら、本学の教職員も自己研鑽を怠らず業務に励んでいます。教育内容や教育方法の改善のための全学的な研修であるファカルティ・ディベロップメント活動や教育研究活動の適切で効果的な運営を図るために必要な知識や技能の修得、そしてその能力や資質向上のための研修であるスタッフ・ディベロップメント活動を行っています。この紀要には、本学教員が行った研究のほか2022年度における教員の業績も記載しています。業績には、研究業績のみならず、地域社会や学会等での活動も記載しております。ご高覧いただき、本学についてご理解を深めていただければ幸いです。